

2010-2011

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com



地域を育み、大地をつなぐ

2010-2011 年度 RI 会長 レイ・クリンギンミス

名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル
■会長 / 太田 敦士 ■幹事 / 吉木 邦男 ■会報・雑誌・広報委員長 / 三島多恵子
■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

第921回

2010年8月31日(火) 晴 第8回

～ 会員増強および拡大月間 ～

斉唱 われら日本ロータリアンの歌
出席 会員 65名 (出席率算入人数 61名)
出席 50名 出席率 81.97%
前々回補填率 94.92%(8月10日分)
ビジター 岡崎城南 RC 小山 章仁さん

会長あいさつ

会長 太田 敦士さん

こんばんは。岡崎城南RCの小山さんようこそお出で下さいました。ごゆっくりご歓談下さい。

今日はいつもと違う指定席ですが、8人くらいで色々相談していただき、何とか会員増強に協力して頂きたいので是非宜しくお願い致します。

また、ミニ懇親会と言いますか、8～10人くらいのグループに分けてのゆったり例会のようなものを何回か開催したいと思えます。その時には、会員増強やクラブ奉仕等色々なテーマを決めまして、忌憚ない意見が言い合えるような場を作ることが会の活性化の機会になるのではないかと考えております。

今日は長い時間ではないですが、自由に話をさせて頂いて、そういう雰囲気作りをして頂きたいと思えます。



幹事報告

幹事 吉木 邦男さん

1. ロータリーレートが現在86円になりました。
2. 海外出張届が出ております。坂本晃さん、キリバス共和国へ8月31日～9月8日、目的は商用です。東山直史さん、ウルグアイへ8月23日～9月2日、商用です。
3. 秋の地区大会の登録が締め切られました。まだ登録費を納めていない会員の方は、ご確認の上、事務局までお納め下さい。

第923回例会(9月14日)のご案内

外部卓話

地区ローターアクト委員長 高須 洋志さん
「新世代奉仕とローターアクト活動」

感謝状授与

県警本部生活安全課少年課長森下刑事と課長補佐の吉田警部がお見えになり、感謝状を頂きました。

— 感謝状 —

名古屋名南ロータリークラブ殿

貴団体は平素から少年の健全育成に深いご理解と協力を寄せられ 第23回愛知県警察少年柔道剣道大会の開催に際し多大な貢献をされました

ここに深く感謝の意を表します

平成22年8月31日

愛知県警察本部 生活安全部長 久野 隆康



ニコボックス

◆ 本日は、林隆二さんの卓話です。楽しみにしています。

白銀 義昭さん	江上 隆夫さん	榊原 和美さん
鈴木 一博さん	安藤 修さん	林 隆二さん
野々村憲吾さん	木村 猛さん	中村 勝さん
犬飼りさ枝さん	白藤 憲雄さん	田中 省三さん
杉本 勇さん	田中 一雄さん	武藤 正行さん
本多 利郎さん	森田敏二三さん	細井 俊男さん
朝比美和子さん	大橋さなえさん	小野 雅之さん
加藤 宜之さん	川村 繁生さん	坂田 信子さん
山本 郁矢さん	山本 誠一さん	堀田 光江さん
佐々木元彦さん	三浦 隆さん	猪村 美之さん
黒田 康正さん	中西 芳子さん	木下 福郎さん
佐々木 眞さん	生野 房江さん	伊藤 圭一さん
浅井 浩さん	水野 俊男さん	久米 伸治さん
新原 尚さん	長尾 浅吉さん	杉山 隆秀さん
川辺 清次さん	吉木 邦男さん	

◆ 長い間休会しており申し訳ございません。また皆様にお会いできること、楽しみにしております。

平沼 里子さん

本日合計 52,000円 累計 359,000円

■会員増強・職業分類委員会

委員長 川村 繁生さん

今期初めて増強のグループ分けということで、このようなテーブル分けをさせて頂きました。山本さん、山崎さん、入谷さん、新原さん、私、太田会長グループ、吉木幹事グループに分けております。

各グループで必ず1人は増強していただくことが目的でございます。これが実現できますと7名増強ができます。我々増強メンバーでなんとか1~2人入れたいと思っておりますのでトータル9名を今期達成できると太田会長の喜ぶ顔が見られるかなと思っております。我々が一生懸命フォローを致しますので協力を宜しくお願い致します。

会員卓話

■林 隆二さん

テーマ「私の歴史について」

皆さん、こんばんは。

8月は丁度終戦の月にあたります。私は1930年の生まれでございますが、1931年には満州事変が始まりまして、それからずっと私の青少年時代は戦争に振り回されたのではないかと思います。



私は5人兄弟でございまして、7歳上の兄、5歳上の姉、2歳上の姉、7歳下の妹です。この7歳上の兄というのは大変な秀才でありまして、私が小学校に入学した頃には先生から「お前の兄は頭の良いやつだった」と聞いたものです。当時は模範学童というものがあり、地区の非常に優秀な子供と父親が東京まで招待され、時の総理大臣だか文部大臣だかに、「皆さんのお子さんは大変優秀なお子さんなので、是非日本の将来を担って頂きたい」というお話があったそうです。私の父は店を継がせようと思っておりましたが、相当な秀才の兄には学問の道へ行かせなければということで、次男の私は店を継ぐよう、幼稚園の頃から言われておりましたが、世の中はどんどん戦争に巻き込まれ、個人の経営はできにくくなっていました。

私が小学校へ入学した時の国語は「咲いた咲いた桜が咲いた」でありましたが、卒業する頃は「進め進め兵隊進め」になり、小学校は国民学校になっておりました。名古屋の商人の息子は名古屋商業ということで、そこに合格しました。当時4km以内は徒歩通学。私は自宅から3.95kmでしたのでなかなか大変でした。

2年の終わり頃に、校長先生から「これからの日本はどうしても工業立国をしなければいけないから、工業学校へ是非行ってほしい」と要望がありました。父の店も戦時中で金属を販売するには難しい状況へ向かっていたこともあり、3年生からは名古屋市立第一工業学校工業化学科に入りました。どうして工業化学科を目指したかと申しますと、兄は学問の道を行き、愛知一中、第八高等学校、京都帝国大学と進み化学の勉強をしておりましたので、同じ化学なら教えてもらえると入りました。

工業化学科に入ったものの、我々は商業で化学の勉強は全くして来なかったので大変苦労しておりま

したら、1ヶ月半くらい勉強しただけで学徒動員になりまして、我々は何も分からずに同級生40名弱と浄心近くの工場へ行ったわけでありました。

そこは飛行機の潤滑油を作る会社でした。どのように作るかという、南方から椰子油をドラム缶で運んできてタンカーの中に入れ、温度を上げてかき混ぜながら苛性ソーダを入れると石鹼ができます。石鹼になると固まってしまうから、我々がスコップでその石鹼を掘り出します。その石鹼を乾留と言いまして火を燃やしてガス化するわけです。また、石炭を焚く所で炉に石炭を投げ込む仕事もしました。なにせ食べるものが無くて本当に苦労しました。やはり事故もあり1人亡くなりました。

商業学校に居た者はどうかと言うと、名古屋関係は軍事工場が多かったものですから、一時期爆弾を多く受けまして亡くなる人もおりました。西区の方は軍事工場は無かったので襲撃には合いませんでしたが、B29が来てキラキラとした爆弾を目にしたことは今でも思い出します。

その後、日本は軍事工場だけではなく一般家庭に対して焼夷弾がどんどん降ってくるわけで、昭和20年の1月や3月は名古屋は大空襲に合っって沢山の方が亡くなり、家も奪われたのではないかと思います。私の家は偶然にも焼け残りしました。当時空襲警報があると父は警防団へ出掛けていき、小さい妹は疎開しておりましたので、母と私と姉2人、リアカーに当面の必需品を積んで、焼け跡の方へ非難しておりました。一体これはどうなっていくのかと不安に考えておりました。

そしてある日、8月の暑い日でした。重大な発表があるからと事務所前へ集められ、雑音が大きくてよく聞こえませんでした。僅かに「堪え難きを堪え、忍び難きを忍んで…」という話が聞こえ、これは日本が負けたのだと思いました。その後のことはあまり覚えておりませんが、石鹼を何個かもらい、家へ帰りました。学校は燃えてしまっておりませんし、先生も殆どおりませんので、何もせずに家にいたような気がします。その後、熱田区の高蔵小学校を借りて勉強を再開したのは10月過ぎてからではなかったかと思えます。

終戦の日は過ぎて、明るる年の3月には、私は中学4年生を迎えました。戦争中だから繰上げ卒業を認めるということで3割くらいの方は卒業されていきました。私は、学校では2年くらいしか勉強しておりませんでしたので、もう1年くらいは勉強しようと思ったわけですが、工業化学の勉強をしても全然生涯には関係無く、部活でバレーボールをやったことを思い出します。親父はというと、戦争で殆ど仕事ができない状況になっておりましたが、戦後に戦前から居た番頭さんが帰ってきて、また一緒にやるかということでプロ化のようなことを始めておりました。

その後、私は名古屋高等商業学校を受けましたが、戦争から帰ってくる兵隊も多く競争率20倍で見事に落ち、4~5人でやっているブローカーのような会社に入ってお手伝いをしておりました。非常にそのころはインフレだったことを思い出します。私は非鉄金属をやっておりました、銅、真鍮、アルミをやっておったわけですが、非常に価格が乱高下するという事に苦しんでいました。あるとき尾張一

宮の尾西地区という非常に染色の盛んな所のある鉄工所の方から電話で呼び出され、「西ドイツから輸入した染色機械を日本で作るからステンレスが欲しい」ということで、初めて18-8ステンレスの片面を400番研磨で磨いたものの注文を10枚もらいました。我々在庫も全然ありませんので、東京の仲間へ問い合わせをさせてそれを紹介したのが、初めてのステンレスの紹介でした。

ステンレスというのは非常に清潔感もあって、これはなかなか面白いのではないかということで、私と先輩の2人でステンレスの販売に手を染めていきました。当時学校給食が増えてきて、各学校の給食設備にはステンレスがよく使われました。業務用厨房にステンレスを販売したり、化学工場も非常に発展しまして四日市では石油化学が盛んでしたからそこにステンレス設備がどんどんできるということで我々も片方で非鉄金属を扱いながら、ステンレスは将来性があるということで昭和45年には銅、真鍮は止めてステンレス、アルミへ方向を変えたことは良い決断であったと思います。そうしたことがステンレス専業化して今日の会社の基礎になったのではと考えます。

次にロータリーでの出会いの話をしたと思います。私はロータリーに入る前はホシザキ電機さんが昭和52年に作ったペンギンクラブに入って、45~46歳だったと思いますが、若手の方で色々お世話をする仕事をしておりました。これはホシザキ電機の創業者坂本社長が東南RCに見えたわけですが、出席がうるさいイメージのロータリーよりも、1月に1回良い講演でも聞いて仲間が愉快地酒を飲む会を作ろうということでペンギンクラブは作られたようです。ある日ペンギンクラブで名古屋ダイハツの当時社長さんで現会長の坪内さんから「ロータリーに入れよ」と言われ入ったのが名南RCであります。

どうしても亡くなった人を思い出すことが多く、岡村さんにお会いした時は日特の副社長で偉い人だなと思いました。岡村さんは2代目のクラブ会長に決まり、私は岡村さんから頼まれ初めてロータリーの副会長を仰せつかるわけでございます。ロータリーでは色々な発表をしなければならないので、私はあまり話すことが得意ではありませんでしたが、ロータリーのおかげでこのような場で話ができるようになって喜んでおります。

岡村さんがある時飲みに誘ったら、顔色が悪く、体の調子が悪くて飲めないと言われました。次の次の週に職場例会で王子製紙に行った時、丁度佐々木先生と並んでおりまして、岡村さんの体の調子が悪いみたいだから先生から言って下さいと言い、先生から厳しく言ってもらったことをついこの間のように思い出します。後から聞いた話ですが、あのような偉いところの人は、秘書が体の調子に係わらず、どんどん予定を取ってしまうということで、以前から悪かったのですが、勲章をもらうことになっていたり、その前に何かあると問題だということもあり、結果的に治療が遅れてしまったのではないかと思います。

佐々木先生も非常に思い入れがあります。名大の名誉教授でありまして、名鉄グランドホテルの狭い例会場で咳をしておりましたら、明日点滴を打ってあげるから来いと言われ、治療していただきまし

た。佐々木先生が体を悪くされて、私がガバナー補佐をやる羽目になり、山本さんや小山さんには大変お世話になったことを思い起こします。

少し趣味の話させていただきます。私は写真と囲碁をやっております。写真は昭和25年くらいに、ある人の紹介でエルボフレックスというのを買いました。中日写真協会の撮影会へよく行って写真を撮ったものであります。ある雪の日、岐阜へ出かけました。長良川の上から真っ白に積もった河原が雪に覆われ、2艘の屋形舟がおったわけでございます。丁度中州になっており、中州のところだけ雪が積もっていないというのを撮ってきました。これが二科展に入選したのであります。また、囲碁は割と若い時から覚えてやりましたが、少しやって辞めておりました。今4段の免除は持っていますが、実力3段ということで楽しんでおります。

皆さんもこれからお年を召された時に、趣味の世界というのは非常に必要だと思いますので、囲碁や写真等やっていただいて、これからの人生大いにがんばっていただきたいと思います。